

ふれあいニュースレター

【政府原子力被災者生活支援チームからのお知らせ】

今号の **ほっと・ニュース**

ふるさとの満開の桜を眺めながら



小高神社の桜
 (南相馬市小高区)



秋山の駒ザクラ
 (川俣町)



「夜の森」の桜並木
 (富岡町)

4月11日、「富岡町復興への集い2015」が開催されました。あいにくの天候にもかかわらず、過去最多の約570名の町民の皆さんが「夜の森」の桜並木を通して広野町中央体育館に集い、旧交を温め、絆を強めていました。



避難指示区域等における平成27年産米の作付について

避難指示区域等における27年産米の作付に係る取組内容が決定しました。26年産米と比較して、出荷制限等の対象地域が減少するほか、葛尾村では新たに作付再開に向けた実証栽培等を行う区域が増加するなど、営農再開に向けて取組が進んでいます。

区分	取組等の内容	対象地域
作付制限	立入が制限されており、作付・営農は不可	以下の自治体の帰還困難区域： 南相馬市、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村及び飯館村
農地保全・試験栽培	営農が制限されており、除染後農地の保全管理や市町村の管理の下で試験栽培を実施	以下の自治体の居住制限区域： 富岡町及び大熊町 以下の自治体の避難指示解除準備区域： 大熊町及び双葉町
作付再開準備	管理計画を策定し、作付再開に向けた実証栽培等を実施	楡葉町全域 以下の自治体の避難指示解除準備区域： 南相馬市、川俣町、富岡町、川内村、浪江町、葛尾村及び飯館村 以下の自治体の居住制限区域： 南相馬市、川俣町、浪江町、葛尾村及び飯館村
全量生産出荷管理	管理計画を策定し、全てのほ場で吸収抑制対策等を実施、もれなく検査（全量管理・全袋検査）し、順次出荷	川内村の避難指示区域以外の区域で平成26年10月1日に避難指示が解除された区域



暮らし関連2



「頼まれて作ると張り合いが出ます」

暮らし関連3



「戻って来られた人や車を見るだけでも気持ちが悪くありません」

NEWS等4

- ・福島県医療機器開発・安全性評価センター（仮称）起工式
- ・被災地向け企業立地補助金の公募 等

詳しくは、農林水産省のホームページをご覧ください。
<http://www.maff.go.jp/j/press/seisan/kokumotu/150227.html>



「頼まれて作ると張り合いが出ます」

震災後に開設された葛尾村の「支え合いセンター」の活動の一環として、2年半ほど前から、再生紙でできたクラフトテープを使って、かごやバッグなどの小物を作っています。

不定期に仮設住宅の集会所に集まって作業をしています。顔ぶれはほとんど同じですが、時々、郡山などから来て一緒に作る人も何人かいます。材料を準備したり本を見て作り方を工夫したりするのは、支え合いセンターの人に手伝ってもらっています。

これまでの作品は、家に飾ったり、果物を入れるのに使ったりしていましたが、最近は、制服をリサイクルした容器を鉢代わりに

使った「花活布」^{はなかつぶ}のカバーにするかごを作っています。

「花活布」は制服メーカー、農業試験場、職業訓練機関、高専の先生や学生など、立場も場所も様々な人たちが関わって、室内で飾れるように開発が進められているものです。今度のかごができたなら、一緒に集会所などに飾る予定です。

クラフト細工作りはとても楽しく、熱中すると夕食の支度を忘れてしまうほどです。

人づてに頼まれて小物入れを作って販売してもらったこともあり、作った物が売れると張り合いが出ます。

皆さん避難前にはやったことがなかった作業ですが、戻ってからも続けたいという方もいらっしゃるようです。



「花活布」と組み合わせて村役場のカウンターに飾っています



一旦作業にとりかかると真剣です。

クラフト細工サークルの皆さん
(貝山仮設住宅集会所)



初めての形でもすすい進みます



こんな形のものも



葛尾村クラフト細工サークル
福島県田村郡三春町大字貝山字井堀田 287-1
連絡先：0247-61-2850
(葛尾村教育委員会社会教育係)



「戻って来られた人や車を見るだけでも気持ちが明るくなります」

夫婦と息子の3人で自動車の修理などを行っています。近所は農家が多く、車がたくさんある家がほとんどです。村役場の自動車のほか、草刈り機、農機や重機の修理を頼まれることもあります。

震災発生後、母親と一緒に郡山に避難していましたが、手を動かしていたかたので、5月の連休明けにまず郡山市内で仕事を再開しました。その後村内に仕事場を移し、避難指示が解除されるまでの約1年間、郡山から通って仕事を続けました。

お客さんの避難先での連絡先がわからなかったのが特に営業もしませんでした。連絡をくださったお客さんから、仕事を再開したことが口コミで広がったようです。

これまで部品を頼んでいたいわきの業者が震災後は配達に来られなくなり、郡山の業者に頼んで来てもらったところ、部品が1日早く手に入るようになりました。

今年の正月から仕事場近くの自宅に戻りましたが、周りでも比較的多くの方が戻って来られています。向かいの建設業者に出入りする車や人を見るだけでも気持ちが明るくなります。



作業場内にはたくさんの機械や工具が並びます



お客さんに恵まれて感謝しています。

有限会社遠藤モーター商会
代表取締役 遠藤 末雄さんと奥様

ここで何十年も仕事をしていますが、お客さんに恵まれて感謝しています。

無理せず、普段通り、やれることだけをやっているのが、長続きの秘訣なのかもしれません。



重機も引き受けます



県道36号小野富岡線沿いにあります
(左奥は事務所)



有限会社遠藤モーター商会
福島県双葉郡川内村大字下川内字田ノ入150
連絡先：0240-38-2291

NEWS 福島県医療機器開発・安全性評価センター（仮称）の起工式が行われました

4月27日、郡山市において、福島県医療機器開発・安全性評価センター（仮称）の起工式が行われました。

福島県では、医療関連産業の振興を震災復興の柱の一つに位置付けています。県が整備を進める本センターは、医療機器の安全性評価、県内外の企業による連携推進、医療機器に関する人材育成などを行う国内最大級の中核施設であり、経済産業省が整備を支援しています。

開所は平成28年度を目指しており、医療機器メーカーの福島県内への立地促進や県内企業の取引拡大など、県内産業の復興や雇用の創出、医療関連産業の発展への貢献が期待されています。



 詳しくは、福島県のホームページをご覧ください。
http://fuku-semi.jp/iryuu-pj/main/main_05_a.php

写真及び図
提供：福島県

NEWS 被災地向け企業立地補助金の公募について

経済産業省の「津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金（製造業等立地支援事業）」第四次公募の採択結果が4月24日に公表され、避難指示解除準備区域等に立地予定の事業10件が採択されました。なお、第五次公募は本年8月頃から開始される予定です。

 詳しくは、経済産業省のホームページをご覧ください。
<http://www.meti.go.jp/information/publicoffer/saitaku/s150424001.html>

NEWS GW期間中の特例宿泊の結果について

通常は宿泊が禁止されている避難指示解除準備区域及び居住制限区域において、短期間の宿泊を認める「特例宿泊」を行ったところ、宿泊世帯数及び宿泊者数は以下のとおりとなりました。

実施市町村	飯舘村	南相馬市	川俣町	葛尾村	川内村	合計
宿泊登録世帯数	45(56)	333(321)	12(12)	10(10)	0(1)(※)	400(400)
宿泊登録者数	115(127)	955(943)	25(30)	23(20)	0(2)(※)	1,118(1,122)

※ 川内村を除く市町村：4月25日～5月10日、川内村：5月2日～10日。
楡葉町は4月6日から3ヶ月間「帰還に向けた準備宿泊」を実施中。かつこ内は昨年実績。

過去記事のコーナーを
リニューアルしました



「ふれあいニューズレター」バックナンバーのご案内

過去の「ふれあいニューズレター」につきましては、以下のアドレスよりご覧いただくことが可能です。ぜひご覧ください。
<http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/kinkyu.html>
[#info_fureai_letter](https://twitter.com/info_fureai_letter)